

だし丸くんレポート ～スーパー能「世阿弥」半田公演特別編①～

第13回 梅原猛と小栗風葉

平成28年2月に雁宿ホールで公演を行うスーパー能「世阿弥」。作者の梅原猛は、半田にゆかりのある人物です。

梅原猛は、1925年（大正14年）、宮城県仙台市で生まれ、その後、実母を亡くし、1歳のときに南知多町内海の梅原半兵衛の家に引き取られ、育てられました。梅原半兵衛の妻、俊は半田の美濃半葉局の娘で、その兄が小栗風葉でした。小栗風葉は半田出身の小説家で、1875年（明治8年）に生まれました。子どもの頃から本を読みふけり、17歳のときに尾崎紅葉の弟子となりました。主な作品に「寝白粉」「亀甲鶴」「下土官」「青春」などがあります。梅原猛が哲学者・文学者の道に進んだことには、風葉の影響があったようです。梅原猛は、小栗風葉をひろめる会編の「小栗風葉 あんない」の中で次のように言っています。

「梅原家は理数科が得意で、私もまた数学を好み、将来、自然科学者が技術者になろうとしていました。それが突如として文学青年になった



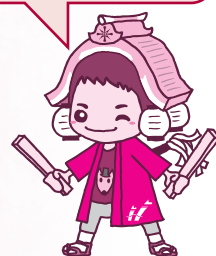
▲梅原猛氏と美濃半葉局の故小栗由美子氏

参考文献：「小栗風葉あんない」「小栗風葉作品集」小栗風葉をひろめる会編、
「新修 半田市誌 本文篇下巻」編集 半田市誌編さん委員会

のですが、その原因の一つが母から聞いた小栗風葉を中心とする明治の文学者の話であったことは間違いありません。とすれば、小栗風葉がなかったならば、私の母の語る文学話はなく、哲学者、あるいは文学者として梅原猛は存在しなかったといえます。」

半田には、梅原猛に縁のある人々が他にもいます。今回は、梅原猛の旧友が語ります。

哲学者の梅原猛氏が書き下ろした現代語の能、スーパー能「世阿弥」半田公演を来年2月に雁宿ホールで開催するダシ。だし丸くんレポート特別編として連載するので、半田との縁を知ってほしいダシ！



スーパー能「世阿弥」半田公演



■日時 平成28年2月21日（日）開演14時（開場13時30分）
■場所・問い合わせ 雁宿ホール（半田市福祉文化会館）☎23-7331
※チケットは雁宿ホール、チケットぴあで好評販売中！

防災 Memo 13

地震による家具の転倒から身を守ろう！

家具を壁面に固定しよう！

L型金具やチェーン式器具などで家具を壁や柱に固定することが最も確実な安全対策です。状況にあわせた器具で家具を固定しましょう。

引出し、扉の対策をしよう！

食器棚などの扉が揺れで開かないようにするためには、開放防止器具の取付や棚板に食器の移動を軽減する滑り止めシートを敷くことが有効です。ガラス扉には飛散防止フィルムを貼りましょう。

家具の配置を工夫しよう！

寝室やリビングなど長時間過ごす場所には、背の高い家具などを置かないようにしましょう。また、家具が倒れた時に出入り口をふさがらない箇所に配置することが大切です。

※65歳以上の高齢者のみの世帯などへの家具固定を無料で行っています。ぜひご利用ください。



●問い合わせ 防災交通課 ☎84-0626